

ASK ニュース

Vol.0229

2016年11月28日(月)

担当：MS事業部 三宮

〒460-0002

名古屋市中区丸の内 3-22-21

損保ジャパン日本興亜名古屋ビル 1F

ASK 税理士法人

TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

銀行との正しい 付き合い方

はじめに

ASKニュースをご覧の皆様、銀行には大きく分けて3つの種類があることはご存じでしょうか。まず、一つ目はメガバンクに代表される都市銀行。二つ目は、各地域に根付いている地方銀行及び第二地銀。三つ目は、信用金庫です。

すでにこれらの金融機関とお付き合いをされている方が多いと思いますが、実際どのようにこれらの銀行とお付き合いしていけば良いのでしょうか。きちんと把握されている方は少ないと思います。それでは、ASK流「銀行との正しい付き合い方」を少しだけ解説いたしましょう。

まずは銀行選びから

まず、必ず押さえておきたいことは、銀行というところは、地域や支店によって全く企業評価が違ふということです。A銀行でダメだとしてもB銀行は融資がおりるといふことがあり得るといふことです。また、同じ銀行でもC支店でダメでもD支店では融資がおりるといふこともあり得ます。もちろん一義的なスコアリングの部分と同じですが、評価する部分は銀行や支店毎に全く違ふいます。

よって、銀行と「どう」付き合うのかではなく、「どの」銀行と付き合うかが重要となってきます。

複数取引が基本

そして、次に重要な事は、必ず付き合う銀行は複数選ぶということです。ただし、間違えてはいけないことは、冒頭触れた3つのカテゴリーを上手く使い分けるといふことです。

例えば、都市銀行で一行、地銀で一行、信用金庫で一行というように3行位と付き合うとバランスが非常に良いです。

ただし、銀行との付き合いが浅いうちは同種の銀行の組み合わせは避けた方が良いでしょう。

ちなみに地銀と第二地銀の組み合わせは良い組み合わせです。

訪問してはいけない

相談をする銀行が決まったらいよいよ融資相談となります。

しかし、こちらから融資相談をしに行つてはいけません。銀行窓口への直接訪問はほぼ100%うまくいきません。それでは、どうすれば良いのかといふと、2つ手があります。それは、①知り合いの社長からの紹介②会計事務所や商工会、法人会からの紹介という方法が固いです。

そして、これらから紹介を受けた後、必ず担当者に会社まで来てもらうことがミソです。こちらから銀行に行つてはいけません。

おわりに

ここに掲げた情報には、それぞれ明確な理由があります。もし、詳しくお知りになりたい方は、是非ASKまでご相談ください。